

踊る子どもたち！動画SNSアプリの大流行

～ブームに潜む危険について～

2018年の流行語大賞やヒット商品番付にノミネートされるなど、10代の若者たちに爆発的な流行を見せている動画SNSアプリがあります。「親世代」、「祖父母世代」の認知度はあまり高くありませんが、10代の若者たちに人気のアプリは、一体どのようなものなのでしょうか。

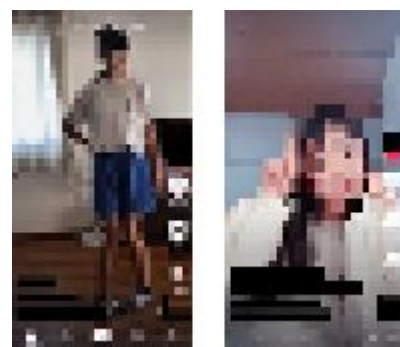


子どもたちに人気の理由

アプリ上には、主にユーザーが撮影したオリジナル動画が投稿されています。その特徴は、動画が最長でも15秒と短いことです。アプリ内に用意された音楽に合わせて、ダンスやリップシンク（口くちパク）を行い、スマホのカメラで動画を撮影、その動画を加工・編集して、出来上がった動画をネット上に投稿、公開します。

子どもたちに人気の理由は、動画が短く、撮影速度を調整できるなど撮影しやすいこと、口くちパクなど投稿する内容にオリジナリティをあまり必要としないこと、簡単に動画の加工・編集ができることなど、参加の「ハードル」の低さが考えられます。また、フォロワーやコメント、「いいね！」の数で投稿者の承認欲求が満たされることも、他のSNSと同じ性質です。

投稿者には、明らかに小学生と見られる子どもも少なくなく、中には子どもにせがまれて、保護者のスマホにアプリをダウンロードしたところ、見るだけではなく、子どもがいつの間にか動画を投稿していた事例もあるようです。



小・中学生と思わしき子どもの動画
(写真は加工しています)

自分の顔や身体をネット上に公開するリスク

ユーザーの大半は、そのまま顔を出した動画を投稿しており、制服や体操服姿で、教室内で動画に映る中高生も多く見られます。これは、学校はもちろん、生活圏まで特定される危険があり、友達のコメントから個人名などの情報を得ることもできます。動画の中には、体操服や通学カバンから学校名や個人名がはっきり読み取れるものさえもあります。

また、一部のユーザーの中には、コメント数やいいね！を稼ぐため、下着が見える動画や水着で踊る動画などの過激な動画の投稿も見られます。

わずか15秒の動画とはいえ、SNS（ネット）上に動画や写真を投稿した時点で、全世界に公開したのと同じだということをしっかり認識する必要があります。

動画共有サイトへの「転載」

アプリ上の動画が保存されることで、他の動画共有サイトなどに知らないうちに「転載」されることもあります。そのような「まとめ動画」の中には、「かわいい女子中学生まとめ」などのタイト



教室内や廊下と思われる場所で
制服を着て撮影した動画
(写真は加工しています)

ルのもの、下着が見えているものなど露出の多い動画を集めたもの、侮辱的なコメントとともに「ブス動画」などとタイトルを付けられたものなどが散見します。

もともとアプリでしか閲覧できなかった動画が動画共有サイトに転載されることで、ネット上で誰にでも見ることができるようになり、拡散の範囲が段違いに広がります。

もし悪用に気づいて動画を削除したところで、**ネット上に公開された動画が完全に消滅することはありません**。前述の個人情報の特定と合わせると、何年経っても簡単に探し出すことが可能となり、今後大きな影響を受けるかもしれません。

犯罪やいじめにつながるおそれも



女子中高生の投稿動画のコメント欄には「LINE を交換しよう」「どこに住んでいるの」などと**個人情報を聞き出そうとするコメント**も多く見られます。

他の SNS と同様に、「DM（ダイレクトメッセージ）機能」が存在するので、動画のコメント以外にも、ユーザーと直接会話することができます。**悪意を持ったユーザーが、直接メッセージを送り、LINE などの個別 SNS に誘導され、犯罪等に巻き込まれる可能性**もあります。

また、「顔出し」動画が基本となっているため、他の SNS よりも本人が特定されやすく、そこから容姿や行動についての誹謗中傷など、**いじめにつながるおそれ**もあります。

安全対策機能について

このアプリは設定により、アカウントを非公開にしたり、コメント機能を制限したり、視聴時間を制限することが可能です。

【おもな安全対策機能】

- ・非公開アカウントに設定できる機能
- ・不適切な投稿を通報できる報告機能
- ・コメントやユーザーをブロックできる機能
- ・1日の利用時間を2時間に制限できるペアレンタルコントロール
- ・検索に「自殺」や「死にたい」などのキーワードを入れたユーザーに対してホットラインの連絡先を表示する自殺防止機能
- ・危険性がある動画に“危険動作のために安易に真似することをご遠慮ください”と警告表示

子どもたちに爆発的な人気を誇るアプリですが、**他の SNS と同様、使い方次第で大きなリスク**を伴います。また、他の SNS と比べても利用者の多くが 10 代の若者で、その実態が大人に分かりにくい点もネックとなります。

子どもたちに、**ネット上に顔を出すことや実名を公開することがなぜ危険なのか**、大人たちがしっかりと伝える必要があります。

